

# 道路事業におけるPI（市民参画）の事例紹介

大阪支店 技術部 角河嘉一 他

## ○キーワード

PI（パブリック・インボルブメント）、市民参画、AHP（階層化意思決定）手法、合意形成

## ○概要

三重県の四日市港と高速道路インターチェンジを結ぶ臨港道路霞4号幹線の計画ルート選定にあたって、学識経験者や地元代表などからなる「霞4号幹線調査検討委員会」を設置し、計画の構想段階から市民参画の導入を図り、計画に市民などの意見を反映させ、より良い計画づくりを行う手法であるPI手法を用いながら検討を行った。

検討は複数代替案について、住民意見を反映させながらAHP手法により代替案の比較評価を行った。最終的なルート選定はAHPの結果などをもとに委員会の合議により行われた。

## ○技術ポイント

共通尺度のない評価項目が存在するため、AHP手法を用いてルート代替案について比較評価を行った。

ステップ1：意思決定したい最終目的を設定する ⇒ 「霞4号幹線として最も望ましいルートを選択する」

ステップ2：意思決定したい問題を階層構造で表現する ⇒ 「5つの評価項目」と「5つの代替案」で構成

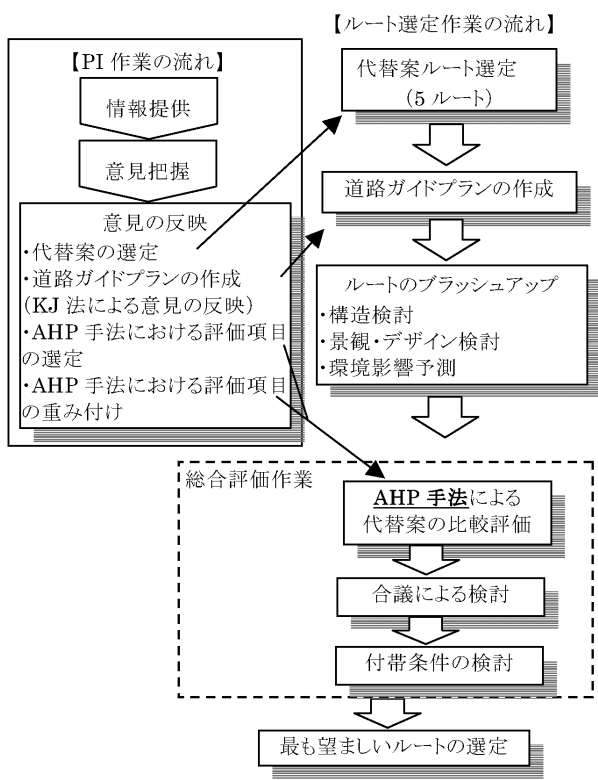
ステップ3：評価項目および代替案の重み付けを行う

⇒ 「評価項目」は住民アンケート、「比較ルート」は委員アンケートで実施

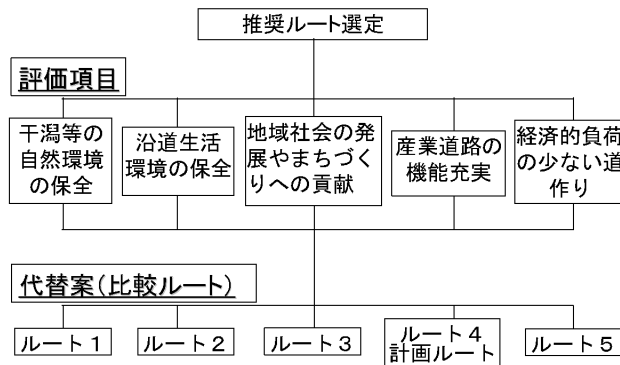
ステップ4：重み付け結果を乗算、最終集計する

⇒ 回答の有効性をチェックし、「評価項目」と「比較ルート」の重みを乗算

## ○図・表・写真等



検討作業の流れ



推奨ルート選定における階層構造

### AHP（Analytic Hierarchy Process）手法とは

AHP手法（階層化意思決定手法）とは、意思決定したいと考える事項について、その決定を左右する「評価項目」と「代替案」に分けて階層構造として表現し、評価項目間および代替案間の優劣を主観的に判定することで、評価者が求める最適な決定を可能にする方法である。